

葉茎菜類(ねぎ)

○高温による被害と産地毎の取組事例

都道府県	露地・施設	原因	症状	対策	普及状況	指導体制	問合せ先
秋田県	露地	7～8月の収穫期前、高温多湿時。	・軟腐病細菌が襟元や傷口から侵入し、組織を軟化腐敗させる。 	・ほ場の排水対策（明きよ、暗きよ） ・薬剤防除	・発病前の土壌混和剤や殺菌剤の散布を防除暦に組み込んでいる。 ・台風や大雨前の排水対策実施を呼びかけている。	JAと県普及所が連携し、高温対策に向けた指導を実施している。	秋田県農林水産部 園芸振興課 TEL：018-860-1803
	露地	・豪雨により幹線排水路が増水し、ほ場へ逆流した。	・生育の停滞、細菌性病害の発生 	・病害予防剤や葉面散布剤の散布	・薬剤防除等については現地研修等で指導。	JA部会を通じて迅速な情報提供と対策の実施。 補助事業での事後支援。	
山形県	露地	高温・少雨 （梅雨明けから8月上旬から9月頃）	生育停滞、葉先枯れ、土寄せ作業の遅れ、害虫被害の発生 	・品種選択、葉面撒布の実施、涼しい時間帯の土寄せ、防除の徹底	・県で高温少雨対策マニュアルを作成、配布 ・県が随時技術対策情報を発出するとともに、講習会を開催して技術普及を推進	生産組織、JA、県等が連携し、対策技術を実証、指導している。	山形県農林水産部 園芸大国推進課 TEL：023-630-3302
	露地	大雨	・生育停滞、葉先枯れ、土寄せ作業の遅れ、腐敗の発生 	・表面排水及び地下排水対策の徹底、品種選択、葉面撒布の実施、適期の土寄せ、防除の徹底	・県で随時技術対策情報を発出するとともに、講習会を開催して技術普及を推進	生産組織、JA、県等が連携し、対策技術を実証、指導している。	
富山県	露地	生育期（5～9月）の高温・乾燥	・生育抑制・株の腐敗	・発病リスクを考慮したほ場選定、排水対策、耐暑性の高い品種と防除体系の導入推進	・実証ほの結果を研修会等で紹介し、優良品種の導入や技術対策の定着化を図っている。	JA・県等が高温対策に向けた現地実証ほを設置している。	富山県農林水産部 農産食品課 TEL：076-444-3284

葉茎菜類(ねぎ)

都道府県	露地・施設	原因	症状	対策	普及状況	指導体制	都道府県
石川県	露地	生育期(7～9月)の高温、多雨	・軟腐病・白絹病の発生 ・生育停滞、欠株の発生 	・適期防除 ・排水対策 ・優良品種の導入 ・土寄せ作業の適正化 ・排水対策	・病害対策技術の普及率は80% ・生育不良対策技術の普及率は80%	JAと県普及所が連携し、高温対策に向けた生産者向けの栽培講習会、栽培指針等で推進	石川県農林水産部 生産振興課 TEL:076-225-1671
鳥取県	露地	夏季の高温(7～9月頃)	・生育の停滞 ・土壌病害の発生による欠株の発生	・灌水による地温の昇温抑制	・試験中	普及所が行う実証試験研究	鳥取県農林水産部 農業振興局 生産振興課 園芸振興担当 TEL:0857-26-7272
島根県	露地	高温の長期化(7～9月)	・軟腐病などの腐敗性病害による欠株の増加(秋冬作) ・土寄せ開始時期の遅れによる収穫時期の後退(秋冬作)	・高温期に根を傷めない管理の徹底(土寄せ、除草等をしない)	・土寄せ作業が遅れると出荷時期が遅くなるため、取組は一部の地域に限られる	県農業普及員、JA営農指導員による現地指導	島根県農林水産部 産地支援課 水田園芸係 TEL:0852-22-6286
香川県	露地	生育初期(8-9月)の高温・少雨	・ヨトウ類の発生量の増加	・病害虫防除所から注意報(ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ)を発表、同害虫の薬剤感受性検定結果を発表。 ・品目別の担当者会で情報を共有し、薬剤を見直し。	・各機関から情報発信し、相談に応じて個別対応	JA、病害虫防除所、普及センターの連携	香川県農政水産部 農業生産流通課 野菜グループ TEL:087-832-3422